

野村 歡・橋本美芽(著)

OT・PTのための住環境整備論 第2版

加島 守

(高齢者生活福祉研究所)



介護保険制度の施行や医療保険制度改正などにより、回復期リハビリテーション病院や介護老人保健施設から退院および退所するときに理学療法士や作業療法士らが退院時指導を行い住環境整備にかかわることも多くなっている。

しかし現状では、理学療法士も作業療法士も実際の住宅改修に対しての知識はまだ不十分ではないかと思われる。時には「理学療法士や作業療法士の方の住宅改修プランは理想論だ」と言われたことを聞いた。さらに病院退院時の指導が退院後どのような効果があるのか、指導が不十分であったかを把握する体制にはなっていない。

住環境整備に関して考えると、身体機能評価を中心に行うことは基本であるが、住環境整備に関する評価とプラン作成については、理学療法士、作業療法士の医学的知識だけで解決できるものではない。

本書は建築知識だけでなく、住環境整備の意味や進め方の留意点、住環境整備の情報収集・整理と進め方、施工後のフォローアップという住環境整備の流れについてから始まり、作業療法士・理学療法士の役割と姿勢まで言及されている。この中でも福祉政策や住宅行政に精通することや福祉用具、家具に至るまで精通すること、住環境整備に必要な経費を知ることなど、現

場に役立つ作業療法士や理学療法士のための住環境整備論と言える。

筆者が1993年から2004年3月まで年間約200人の高齢者への住宅改修相談業務を行っていたとき参考書とさせていただいたのが、昭和40年代から障害者に対する住環境の研究に取り組んでいた野村歡先生のさまざまな著書である。また、橋本美芽先生は東京都心身障害者福祉センターや横浜市総合リハビリテーションセンターなど多くの現場で理学療法士や作業療法士とともに住環境整備の実績を積み重ねられている。

このお二人であるからこそ作業療法士、理学療法士にとって必要な建築の知識だけでなく、車いすからリフトなどの福祉用具まで幅広く解説されているのが本書の特徴である。

今後住環境整備にかかわる理学療法士や作業療法士ばかりでなく、急性期病棟のセラピストたちも退院後の状態と生活をイメージして急性期の治療を行っていただくためにも必読していただきたい一冊である。

●AB・368頁・1色刷

定価 4,410 円(本体 4,200 円+税 5%)

2012 年 三輪書店刊